

日時:2011年11月22日(火)19:10 – 20:40

場所:石川県立音楽堂(Plasma Conference 2011)F 会場

司会: 領域2代表 安藤

書記: 幹事 田村

出席者:安藤、米田、菊池、重森、井、荒卷、三好、田村、蓮尾、宮戸

## 審議事項

【11月23日(水)の運営会議の議事次第確認として、以下の事を議論。】

### 1. 2011年10月からの新役員体制及び役割分担について

以下の方々が、2011年9月で役員任期終了となった。

領域代表	菊池満	日本原子力研究開発機構
役員	利根川昭	東海大学
役員	河村徹	東京工業大学
役員	古川勝	東京大学

2011年10月からの役員体制は以下の通り(～2013.3まで)

領域代表	安藤晃	東北大学
領域副代表	米田仁紀	電気通信大学
領域前代表	菊池満	日本原子力研究開発機構

○(2012.3まで領域委員、2012.3～2012.9まで役員)

役員(領域運営委員)	重森啓介	大阪大学
役員(領域運営委員)	井通暁	東京大学
役員(領域運営委員)	荒卷光利	名古屋大学

○(2012.9まで領域委員、2012.9～2013.9まで役員)

役員(領域運営委員)	三好隆博	広島大学
役員(領域運営委員)	田村直樹	核融合研
役員(領域運営委員)	蓮尾昌裕	京都大学

○(2012.4から領域委員、任期は2011.9～2014.9)

役員	出射 浩	九州大学
役員	永岡賢一	核融合研
役員	宮戸直亮	日本原子力研究開発機構

### 2. 一般社団法人への移行に伴う領域代表、副代表の任期変更について

領域代表・副代表の任期も10月～翌年9月ではなく、4月～翌年3月に変更される。2011年10月からの領域代表・副代表は2012年3月までの任期か2013年3月までとするかを決める必要がある。領域2では代表、副代表は2013年3月までの任期とすることとした。

### 3. 役員の役割分担について

大会(プログラム編集・会場設定)	重森、井、三好(正)、蓮尾(副)、 宮戸(次期正)、出射(次期副)
シンポジウム・招待講演・企画講演	蓮尾(正)、三好(副)、井、重森
3学会合同世話人	井、安藤、三好、永岡(次期正)
ビーム領域との合同セッション担当	重森(正)、蓮尾(副)
表彰・若手奨励賞	米田(副代表)

学生優秀発表賞	開催時の代表、副代表、(事務担当:田村、荒巻、永岡)
会計・予算	安藤(代表)
学会連携(2年間)	田中、古川、菊池、荒巻、安藤、蓮尾
広報(ホームページ)	重森(正)、永岡(副)
メーリングリスト	田村
編集(JPSJ)	菊池(前代表)
役員会・運営会議幹事(書記)	田村

#### 4. PLASMA2011 について

参加者数について紹介があった。今後の開催について、開催のメリット・デメリットや運営体制などを論じる必要があるとの意見があった。PLASMA2011 におけるファクトデータを持って2012年1月に関係者が集まって再度議論を行うこととなった。

#### 5. 第67回年次大会案内とシンポジウム、招待・企画講演の提案について

先日の領域代表会議において提案した案件は全て承認済みである。明日の運営会議では、吉田先生の招待講演については菊池さんが、市村先生の招待講演及び企画講演については安藤さんが紹介することとした。その他についてはそれぞれの提案者が説明することになっている。他領域との共催については、各領域の役員の方々と相談してほぼ決まっている状況である旨が紹介された。

#### 6. 学生優秀発表賞について

応募者数確保のために、再度応募を喚起する。第67回年次大会が実質的に初回となることから、注意点についてよく説明することとした。受賞者数の目安について議論し、応募者数の1割から2割程度とする(応募者数によっては変更あり)こととした。

#### 7. プラズマ宇宙物理3学会合同セッションについて

明日の運営会議では、井さんが説明することとした。現在、申込みを受け付け中である。運営委員より、本合同セッションにより実が得られており、今後も継続していきたいとの意見があった。これを受けて、説明の際には、そういった意見も口頭で紹介することとした。3学会共催セッションの今後について議論した。次回(明日ではない)の運営会議で方針決定をする必要がある。継続の場合、物理学会での開催は2013年3月となる。

#### 8. 若手奨励賞選考について

以下の2名を受賞候補者として推薦したい旨報告があった。

- ・ 高橋和貴(岩手大学工学部 助教)
- ・ 永岡賢一(核融合科学研究所 助教)

運営会議では、田中さんから説明することとした。

#### 9. 領域名に関する提案について

11月12日の理事会で領域略称を新たに設定することを検討することが決定した。

- ・ 略称名(5文字以内):「プラズマ」
- ・ キーワード:「プラズマ基礎・プラズマ科学・核融合プラズマ・プラズマ宇宙物理」
- ・ アルファベットによる表記:「JPS\_DPP」

明日の運営会議で、この案を紹介し、意見があれば受け付けることとした。

10. 古川さんの日本物理学会誌編集委員就任について

役員を通して日本物理学会誌への投稿を進めて行くこととなった。

11. 日本学術会議報告について

九州大学の伊藤早苗教授が紹介する予定である。今回多くの議事があるので、できるだけ短く報告してもらうように依頼することとした。

12. 科研費「系・分野・分科・細目表」の見直しについて

核融合科学研究所の岡村昇一教授が紹介する予定である。決定事項なので、報告のみである。

13. 分科会小委員会紹介について

決定事項なので、報告のみである。

その他

1. 先日開催された領域代表会議での議論について

シンポジウムに関して提案者と講演者の所属関係について議論があった。厳密に適用すると、例えば KEK グループなどでは申請ができなくなってしまう。個々の事例に応じて対応することになるが、できるだけ自薦は避けたいという主旨に沿って注意していく。

2. AAPPS について

時間不足が予想されるため、明日の運営会議での議論は見合わせることにした。

以上